

突哨山運営協議会 2020年度 第3回協議会議事録

2020年12月1日(火) 18:30～ 旭川市役所第三庁舎

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 桐一郎 澤田勇 寺島一男 山本牧
旭川市公園みどり課 笹川主査
事務局 中村直人 富岡雅志
以上 個人7名 団体1名 事務局2名

1. 報告事項

活動報告(主催・共催)と写真. 主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- ・ 10月4日 森薪塾[もりまきじゅく]突哨山見学 参加者11名(もりねっと)



- ・ 10月8日 村上山公園「E」看板設置、ぴぴの路「F」看板補修





- ・ 10月14日 カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会）
参加者 出羽・黒川・桐・澤田・富岡・中村 6名



- ・ 10月18日 突哨山ボランティア遊歩道整備（もりねっと）
参加者 突哨山運営協議会（桐）、公園みどり課（高木）
一般 4名 もりねっと（富岡・中村） 計8名
内 容 扇の沢入り口付近に木道設置



- ・ 10月21日 現地検討会
参加者 出羽・舟橋・桐・澤田・公園みどり課（高木・笹川）
山本・富岡・中村 計9名
確認・指摘事項 突哨山公共駐車場看板の倒壊跡確認

針葉樹林帯のラン科植物の位置確認
比布町側人工林における枯損木の危険性指摘



- ・ 10月24日 比布町秋の突哨山ツアー 参加者17名(比布町教育委員会)
散策、ネイチャービンゴ、焼き芋など



- ・ 10月30日 突哨山公共駐車場看板設置





- ・ 11月1日 芋煮会 参加者50名(突哨山と身近な自然を考える会)



- ・ 11月1日 突哨山公共駐車場トイレ撤去



・ 11月24日～ 人工林間伐



出羽 澤田さん、比布町突哨山ツアーのネイチャービンゴとはどんなものですか。

澤田 3×3のマスを作って、その中に木の葉や木の実、セミの抜け殻など見つけて欲しいものを9つ書いて、見つけたらシールをあげます。シールでビンゴを作るというものです。子供向けに作りましたが、大人にも参加していただいたら大人も夢中になってやっていました。

再生観察林について

添付資料1

出羽 空隙率、散乱透過光率とありますが、地表にこれだけ光が当たるという意味ですか。

山本 計測は地上1.3mで行なっています。

出羽 これだけの光が入ってくるが、地表の条件によって光が当たるか当たらないかわかってくるということですか。

山本 そうです。

寺島 葉は光を通さないという計算ですか。

山本 写真の明るさはアナログで調整しています。ソフトを作った方も、これを厳密に自動化することは難しいとしています。露出を変えると数値も変わってきます。どこを空隙とするかはアナログで調整しています。このソフトでは、撮った写真を白黒にして、その白の部分と黒の部分の面積を計算しています。

出羽 ネズミの調査では鬱閉率を目視で大雑把に把握しますが、空隙率はその逆ですね。

山本 このデータはもっともらしいですが、実はアナログな部分も入っています。

2. 協議事項

突哨山（遊歩道）の愛称検討について

これまで3回に渡り突哨山または遊歩道の名称・愛称について話し合われてきました。さまざまな意見が出されましたが結論には至っておりません。ご検討をお願いいたします。

また、公園みどり課から平成14年（2002年）の「突哨山整備に関わる説明会」資料を閲覧させていただきました。名称や看板について意見交換がなされていますので参考資料として添付いたします。

添付資料2

出羽 名称・愛称について考えてきてくださいとお願いしていましたが、どなたか案はありますか。

なかなか案は出ませんが、前回までに2回話し合われています。7月27日の第1回協議会と9月28日の第2回協議会です。これまでに出た案としては「突哨山自然遊歩道」、これは工藤和彦さんからの案です。これを踏まえて、こちら工藤さんの案ですが「突哨山自然公園」という案もありました。また山本牧さんから「森の公園 突哨山」という案もありました。私も「突哨山雑木林公園」という名称を考えました。寺島さんは地質的な要素も考えた方がいいのではないかという意見もありました。

寺島 開拓当時の頃から名称の変遷があったのかどうかわかれば良いなと思っています。

出羽 それから黒川さんは、昔は「牧場山」と言っていたこともあるそうです。「突哨山」という名称は外せないと思います。「突哨山」に何か付け加える形になるのかと思います。突哨山が「里山」か「裏山」か、というテーマは今後検討していけばいいと思います。

澤田 突哨山というとカタクリが連想されます。カタクリを生かす名称はどうでしょうか。例えば「カタクリの里 突哨山」などいかがでしょうか。

出羽 「カタクリの里」といえばそういう名前のお酒がありましたね。黒川さん、その日本酒はもうないんですか。

黒川 5年ぐらいやっていたんですが、もうなくなりました。一度に作る量の単位が大きすぎて続けられなくなりました。

桐 男山は自然公園といえますね。突哨山も自然公園にしたら自然公園が二つあって紛らわしいのではないのでしょうか。

出羽 「カタクリの里 突哨山」というのはある意味わかりやすいですね。でもカタクリだけじゃないと私は思います。

山本 我々はもう「突哨山」という名前が染み付いてしまっていますが、笹川さんは新しく担当になられてどういう印象ですか。

笹川 私は突哨山と言うとカタクリを連想します。男山と突哨山がどう分かれて

いるのかよく分かりませんでした。今回、名称や愛称を検討するにあたって、どこを見て欲しいのか、誰に来て欲しいのか、そのへんがポイントになるのではないのでしょうか。それによって方向が決まってくると思います。

桐 突哨山は日本一のカタクリの群生地と言われていますが、名前ばかり使って売るのが、人に来てもらうためにどのように売り込むかという考え方もあると思います。

出羽 突哨山はカタクリが有名ですが、私は「カタクリがあるから守るのか」と言われたこともあります。確かにカタクリは分かりやすいし、全国的によく知られています。しかし、考えると歴史的にも生態的にも多様性が特徴だだと思います。そうなるともた難しくなってしまうですね。

寺島 愛称とすればなんでもいいんですが、それでも長く使っていくと定着していく可能性があるので、そういう名前をここで決めていいのかという感じもあります。そういう意味では広く、子供たちも含めた市民に名称を募集してみるとか、そういう方法も考えられると思います。突哨山の歴史や特徴を市民に伝えながら 名前や愛称募集するなどの方法も必要になってくるかもしれません。

出羽 三浦綾子の作品に登場する坂の名称も公募で決まりましたね。

寺島 市のキャッチフレーズ「あ、雪の匂い」も一般公募でしたが、そういう発想は僕らではなかなか出てこないですね。

出羽 「緑の岬 突哨山」という呼び方もあったんですが。アンケートやりますか。

笹川 どちらにしても協議会だけで決めましたというのは難しいと思います。広く意見を求めて決めるという手順が必要になると思います。ただ、名称を募集するときに、なぜ今か、という理由も必要になると思います。平成 14 年に一度結論が出ているということもありますから。

出羽 「突哨山」というのは市の公園としての正式な名前ですね。なんでこの話が出てきたんですか。

中村 工藤和彦さんが、お客さんにお店の場所を説明するときに、突哨山と言ってもピンとこない。男山自然公園と言うと分かってもらえる。と言う話からです。

出羽 男山はみんな知っているが、突哨山という名前はあまり知られていなかった。やっぱりどんな名所言うにしても浸透するには時間が必要ですね。

笹川 工藤さんがお店の場所が分かりづらいからと言うのは募集する理由にならないと思います。

寺島 公募するならそれなりの動機付けやどう審査をするのか、その辺の土台固めも必要かもしれませんね。

桐 名前を変えるなら理由が必要ですね。今さらと言う感じもします。

出羽 ゴルフ場計画がダメになって、市や比布町が買い取って、これから言うときには一つのタイミングだったかもしれません。となると今はそのタイミングではないかもしれませんね。今日はこの辺までとしましょう。

男山自然公園のガイドマップ掲載について

前回（第二回協議会）ガイドマップおよび現地番号看板について協議していただきました。村上山公園については比布町と協議の上、現地に「E」看板を設置いたしました。男山自然公園については看板を設置せずにマップ上だけ番号を残すか、またはマップ上の番号を無くして欄外に説明をつけるか、というところまで協議していただきました。ご検討お願いいたします。

出羽 これまで、男山自然公園に 1 2 番の看板がないという問い合わせは受けたことがありますか。

中村 私の知る限りありません。

桐 ガイドマップに番号を付けておいたら、ここにはどうやって行くんですか、と聞かれると思います。

中村 男山自然公園にはどうやって行くんですか、と言うのはよく聞かれます。

出羽 それはあまり番号とは関係ないんじゃないでしょうか。男山は入り口が一つしかないですし。しかも、普段は閉まっている。

山本 このガイドマップを作るときに、あえてこの番号は現地にありますとは書いていないんです。ガイドマップの地図と下の解説とを連動させるための番号なんです。それで現地に行くと実は番号が置いてあるという形になっています。今回、村上山に番号看板を設置して、男山の方だけないと言うことになりますので、例えばガイドマップの 1 2 番の表示を取ってしまっても地図には文字で「男山自然公園」と書いてありますので、男山自然公園の解説は端に寄せると言う方法もあると思います。

出羽 分かりづらいのは、ポイントを示している番号と、その地域を解説している番号と、両方混在していることです。マップ上の 1 2 番表示を取って解説は欄外に載せるというのが分かりやすいような気がします。いかがでしょうか。

黒川 前回、体調不良で休んでしまいましたが、ガイドマップの表記について前から思っていたことがあります。男山自然公園はガイドマップの表記上、突哨山と続き番号で 1 2 番と表示されています。しかし、この 1 2 番の場所は日常行くことができない場所です。突哨山とは、間に個人の所有地があり、道がつながっていません。男山自然公園はご存知のように春の二週間しか開園していません。ということから、私は男山自然公園と突哨山との関連性はないと思っています。ただ、訪れた人には男山自然公園と突哨山のカタクリを比べて欲しい。突哨山のカタクリは手付かずの雑木林の中にあります。男山のカタクリは管理された雑木林の中にあります。その違いをぜひ見て欲しいところです。そのことを説明の欄外に、男山自然公園も大切にしましょうという意味も含めて載せておくべきだと思います。そうすれば、私は番号はいらないと思います。

出羽 男山自然公園の番号に関していかがでしょうか。

寺島 私も外した方がいいと思います。男山自然公園の解説をここですべきか

考えてもいいと思います。突哨山の歴史やその他の部分に移すのも検討してもいいかもしれません。

出羽 それでは番号を外すという形でいきたいと思います。

山本 地図上の番号と解説の番号を外して、解説は場所を変えて載せるということですね。説明の内容はいかがですか。

黒川 突哨山の説明も加えた方がいいと思います。公有地と比べてくださいと書いていますが、何が公有地の特徴なのか分からない。突哨山は手付かずの雑木林、という表現を加えた方がいいと思います。初めて見る人に比べてみてくださいと言っても分からないと思います。

山本 公有地というのは分かりづらいかもかもしれませんね。

黒川 でも、どちらも突哨山ですから。

出羽 では、その解説の内容だけ考えます。

山本 公有地の他に何かいいアイデアありませんか。

出羽 あとはガイドマップ検討会で検討します。

道道鷹栖東鷹栖比布線工事について

前回（第二回協議会）寺島さんから法面への外来種繁茂の懸念からササによる法面緑化について提案がありました。その後、出羽さん、寺島さんが比布町と意見交換を行いました。最終的にササによる法面緑化については実施困難という結論に至りました。また「要望書 に対する回答書」については以下の追加修正がありました。これについてご検討お願いいたします。

さらに「要望書 に対する回答書」に対する回答を依頼されております。現時点で他に要望や意見がない場合はその旨、比布町に対し回答をいたします。

比布町はこの回答を受け、北海道に道道建設の申請を行うとのことです。

「要望書 に対する回答書」の追加修正点

2つめとして『法面緑化について』ですが、**工事区域内に特定外来植物の生育が確認された場合は、それらの生育区域が拡散しないように、可能な限り防除し被害の低減を図ります。**また、現地のすき取り土を再利用するとともに、緑化部には無種子吹付工法を採用し、現在の環境を回復させる事が期待できる法面処理を考えています。こちらは改良工事時に対応致します。

添付資料 3

出羽 もう一度確認すると、この工事に伴ってカタクリの群落をブロックで移植をします。移植先の外来種はこの後も除去していく。それ以外の場所についての緑化です。在来のササによる緑化を提案したんですが、そこまではできそうもないという回答でした。回答書の修正点は曖昧な表記なっていますが、将来的にボランティアによる除去作業も検討するということでした。在来のササによる緑化も、研究機関と協力して試験的にボランティア

で実施するのもいいと思います。これで致し方ないと思うんですが、いかがでしょうか。これ以外のポイントとして、水路の問題は具体的な計画が出てきた段階で検討する。ノスリの営巣については、春に営巣が確認された場合は雛が巣立つまでは工事をしないと確約を取れました。この法面緑化について合意が得られていませんでした。皆さんいかがでしょうか。

中村 本日、運営委員の木村さんから欠席のご連絡をいただいたんですが、その際に、道道の議題について、できるだけ円滑に進める方向でお願いしたいとお話がありました。

山本 質問ですが、「無種子吹付工法」とありますがどういう工法なんでしょうか。

出羽 なんらかの種子入れて吹き付けるわけではないということだと思います。他に意見がなければこれで進めたいと思います。

2. 連絡事項

今後の予定

- ・ 12月6日(日)、13日(日) 突哨山間伐体験～クリスマスツリーのおすそわけ～
- ・ 第4回協議会 3月

中村 毎年、札幌から間伐体験にいらしている障害者施設の方達についてはコロナの関係で中止することになりました。

出羽 次回の協議会の日程を決めたいと思います。
3月15日(月)にしたいと思います。
他に何かありますでしょうか。

黒川 カタクリ広場のトイレは11月24日に閉めました。除雪は週末のみで東鷹栖の高野重機に依頼しています。代金は突哨山と身近な自然を考える会で支払います。

中村 11月29日の北海道新聞に掲載されましたが、男山自然公園の来春の開園のための資金をクラウドファンディングで募集しているそうです。550万円の目標で先ほど確認したところ230万円に達しています。目標金額に達しなければ開園しないそうです。コロナの影響による売上不振が原因だそうです。2021年度はクラウドファンディングで開園したいとされていますが、2022年度以降は目処が立っておらず、売却や贈与も考えているということです。どこかに売却されて、今までとは違った使い方をされるのが心配です。今後もカタクリの名所として存続できるように応援していきたいと思います。

以上